

編集後記

今年には本研究科設立5年目にあたり、初めての博士号取得者を送り出すこととなりました。さらに博士候補生の資格を取得した院生数名も、その後を追うべく研究に邁進しています。その研究成果の発表の場である『多元文化』は、高い質を守るために厳しく審査をするという審査教官の言もあるほど、厳しい関門が待ちうけており、毎回相当数の論文が不採用となっています。しかし、先生方のコメントを基にその後も修正を続け、次号で掲載されることになった論文もあり、その現実を考えると、『多元文化』が非常に重みのあるものを感じられてきます。

本号は、投稿論文20篇中、4篇が不採用となり、計16篇の論文を掲載することになりました。掲載論文のテーマはまさに多元的ですが、分野の別に拘らず、多くの方々に読んでいただき、忌憚のないご意見をいただければ、幸いです。

また、第1号の編集後記には、版下作成に苦労している悲痛な叫びが綴られています。3回目となった今回は、編集委員・投稿者ともに、スムーズに作業を行うことができました。毎号の表紙も、「多元文化」をテーマに院生がデザインしたもので、ハード・ソフトともに充実してきた感を抱いています。

最後に、御多忙中にもかかわらず、審査・再審査に御協力頂き、知らない投稿者の今後を真剣に考えてくださった先生方に、心より感謝申し上げます。同時に、今後とも温かく厳しいご指導をいただけますことを、そして『多元文化』がさらに充実・発展していきますことを、編集委員として願ってやみません。

(R . K .)